



2026年10月30日

各 位

会 社 名 株式会社 千趣会
代表者名 代表取締役社長執行役員 鈴木 聡
(コード番号：8165、東証スタンダード)
問合せ先 常務執行役員 コーポレート本部長 高橋 哲也
(TEL 06-6881-3220)

通期業績予想及び配当予想の修正（無配）に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向をふまえ、本日2026年10月30日開催の取締役会において、2026年8月7日に公表いたしました2026年12月期の業績予想及び配当予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正について

(1) 当期の連結業績予想数値の修正（2026年1月1日～2026年12月31日）

	連 結 売 上 高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 た り 連結当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 41,000	百万円 △1,200	百万円 △1,200	百万円 0	円 銭 0.00
今回修正予想（B）	39,000	△1,900	△1,900	△500	△10.69
増 減 額（B－A）	△2,000	△700	△700	△500	
増 減 率（％）	△4.9%	—	—	—	
（参考）前期連結実績 （2025年12月期）	42,071	△2,588	△2,737	3,940	84.23

（２） 修正の理由

当社グループは、2025 年 2 月 13 日に発表いたしました「再生計画（2025 年～2027 年）」に基づき、事業構造改革と業績回復に向け、特に通信販売事業においてデジタルシフトに向けた各種施策の推進を継続しております。

しかしながら、物価上昇による消費者の節約志向の高まり等を背景として、当第３四半期連結累計期間における効果発現が遅れていること等による受注未達の影響が大きく、通期の売上高は前回予想を下回る見込みとなりました。また、受注減及び受注減影響による在庫処分バーゲン販売の増もあり、売上総利益額が減少した結果、通期の業績予想は、連結営業損失 19 億円、連結経常損失 19 億円、親会社株主に帰属する当期純損失については、本日公表しております、連結子会社の関係会社株式売却益として 396 百万円を特別利益に計上する一方、今後の事業構造改革に伴う一時的な関連費用の発生を見込んでいること等により、5 億円となる見込みです。

一方で、通信販売事業において顧客ターゲット別に最適化した商品・チャネル展開や販促施策の強化及び機動的な商品投入の継続稼働により、新規・復活の購入会員数は当第３四半期連結累計期間においても前年同期から増加傾向が継続しており、デジタルシフトに向けた取り組みは着実に成果を上げつつあると認識しております。

今後におきましても、再生計画に掲げた各戦略を完遂・継続することで早期の業績改善及び黒字化を図り、お客様やステークホルダーの皆様の期待に応えられる企業となるよう、全社一丸となって取り組んでまいります。

なお、2027 年 12 月期の予算について策定中であり、2027 年 12 月期の数値目標については、2026 年 12 月期の決算発表時（2027 年 2 月 12 日予定）に公表いたします。

2. 配当予想の修正について

（１） 配当予想修正の内容

	年間配当金（円）		
	第２四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想	円 銭 —	円 銭 (未定)	円 銭 (未定)
今 回 修 正 予 想	—	0.00	0.00
当 期 実 績	0.00	—	—
前 期 実 績 (2025 年 12 月期)	0.00	0.00	0.00

（２） 配当予想修正の理由

当期の期末配当予想につきましては、業績動向や今後の財務状況等を慎重に見極めるため「未定」としておりました。しかしながら、上述の通り当期につきましては親会社株主に帰属する当期純損失を計上する見込みとなったことから、誠に遺憾ではありますが、2026 年 12 月期の期末配当につきましては無

配（年間無配）とさせていただきます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、早期の復配実現に向け、限られた経営資源を事業基盤の立て直しと収益性改善に集中させ、将来的な企業価値向上に取り組んでまいりますので、これまで以上にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(注)上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上